

令和元年度第2回河川ガイドツアー [桜川編] を実施しました！

- [日 時] 令和元年11月30日(土曜日) 8時45分から16時まで
[場 所] 集合：霞ヶ浦環境科学センター，土浦駅東口 桜川下流：河川管理境界(土浦市港町)
桜川中流：禊橋(つくば市上菅間) 昼食・休憩：平沢官衙遺跡(つくば市平沢)
桜川上流：源流・鏡ヶ池(桜川市山口)
[参加者] 30人(大人：19人，子ども：11人)
[講 師] 霞ヶ浦環境科学センター 中島主査，腰塚囑託

身近な河川を上流・中流・下流と巡り，水質や生き物の調査等の体験学習と，自然科学，歴史，地理等の話を通して，河川を様々な側面から総合的に捉え，自然の素晴らしさや恵みを感じ，環境に配慮した行動を考えるための河川ガイドツアーを，霞ヶ浦の流入河川の一つである「桜川」で実施しました。

霞ヶ浦環境科学センターと土浦駅東口に集合し，バスで土浦市の河口から桜川市の源流・鏡ヶ池まで巡りました。バスの中では講師から，桜川が霞ヶ浦に流入する最大の河川であること，筑西市の鏡ヶ池を源流に土浦市で霞ヶ浦に流れ込んでいること，土浦のまちが桜川河口の三角州にできたものであるという歴史の話，つくば市内にある桜川の堰の話等を聞きました。



下流の河川管理境界(土浦市港町)では，桜川と霞ヶ浦の境界を観察し，川幅が広いことや流れが緩やかであることを確認しました。また，水質検査体験としてCODのパックテストと透視度測定の実験を行いました。



中流の禊橋(つくば市上菅間)では，橋の上から採水した川の水の水質検査体験を行い，その後川岸に降りて川の石の観察を行いました。様々な種類の石があり，川の流れにより丸い形になっていることや，筑波山の石は花崗岩で真砂になりやすいため，観察している石は桜川が鬼怒川の支流であった頃の石が多いことを学びました。

また，下流よりも川幅が狭く，流れも比較的に急であることを観察しました。



昼食・休憩時間は、平沢官衙遺跡を訪れ、現地ガイドの方から遺跡の説明を聞きました。



最後に上流の源流・鏡ヶ池（桜川市山口）を訪れ、源流付近の観察と水質検査、透視度測定等の体験をしました。河口から源流までを一日で巡ることで、水質や透視度が源流に向かうにつれて良くなっていくことや、川幅や周辺風景の変化を観察することで、水が繋がっていることを感じることができました。



参加者の皆様からは、「63 kmの間でこんなに汚れるのかと驚いた」、「水の透視度やCODの測定が体験でき、大人でも勉強になった」、「上流に行くほど水がきれいになるのが印象的だった」、「水の色の違いがすごく違うので毎日の生活の中で注意していきたいと思います」、「桜川の源流が鏡ヶ池であることを知ることが出来て良かった」、「いつも見ている桜川の源流をたどることができた楽しい学習でした」といった感想をいただきました。

また、「もう少し川沿いを走って欲しかった」、「資料をカラーにして欲しい」という御意見もいただきました。

皆様からの御意見を参考に、これからも楽しく体験しながら学ぶことができるイベントを企画しますので、ぜひ御参加ください。

御参加いただいた皆様、御協力いただいた皆様、ありがとうございました。